


県民の代表は

戦後77年—沖縄の苦難の歴史を

県民とともに歩む

イハ

鉄軌道	米軍由来のPFAS汚染	ひとり親家庭への給付金	空港出発前のPCR検査
鉄軌道整備・公共交通の拡充を求める ↓ 整備が沖振法の国会の附帯決議に明記される	安全な北部の水にぎりかえるよう求める ↓ 安全な北部の水の供給量増やす 「協議をすすめていきたい」(政府) 有害なPFASから命の水を守る	↓ イハ質問で給付金の再支給が実現 よかったさー 	「なかなか難しい」(西村経済再生担当大臣) ↓ イハ質問でPCR検査実施に 空港出発前の

豊かな実績のほんの一部をご紹介します

ウチナーの声を届け 国政を動かす

イハ



「慰霊の日」(23日)に参列し平和を誓うイハ洋一氏

私の母は、沖縄戦で家族9人のうち、両親や祖父、姉兄など6人を失いました。母も従軍看護婦としてかりだされ、最後に手りゅう弾で自決をはかり、一命をとりとめました。母も亡くなりが、片眼が傷つき視力を失いました。母も亡くなり、親族7人の名が「平和の礎」に刻まれています。私は母子家庭で、当時は貧困の中、母は苦勞して私を育てました。だからこそ、すべての子どもたちに笑顔でくらせる沖縄、基地のない平和な沖縄を手渡してあげたいのです。

新基地を容認、憲法9条をかえようとする自民党政府いいなりの人には絶対に負けられません。

— 沖縄戦で家族を失った母とともに

「いくさ世」は一度とごめん

自民新人 「政府中枢で仕事、有能」といっていますが
沖縄いじめの安倍・菅政治をすすめた人
 安倍首相当時の首相官邸付の内閣沖縄振興担当。
 辺野古新基地建設とリンクした振興策をすすめました。